

東京音楽大学リポジトリ

Tokyo College of Music Repository

Musical Instruments Housed at the Institute of Ethnomusicology, Tokyo College of Music(3)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-05-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小日向, 英俊, 木村, 佳代, 針生, すぐり メールアドレス: 所属:
URL	https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1095

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



東京音楽大学附属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(3)¹

Musical Instruments Housed at the Institute of Ethnomusicology, Tokyo College of Music(3)

小日向英俊 KOBINATA Hidetoshi

木村佳代 KIMURA Kayo

針生すぐり HARIU Suguri

本稿は、本学附属民族音楽研究所が収蔵する楽器コレクション紹介シリーズの3回目である。具体的な楽器・音具を見ることにより地球上の様々な地域の音楽への関心を高め、さらに音楽教育全般と世界音楽教育に不可欠な資料として活用する目的で情報提供を行う。

キーワード: 楽器学 Organology、楽器コレクション Collection of musical instruments、音具 Sound instruments、楽器資料の教育資源化 Utilization of musical instrument information in education

1 はじめに

本稿は、東京音楽大学附属民族音楽研究所が収集する楽器紹介シリーズの3回目である。掲載楽器の製造・使用地域、楽器の構造については、表1のとおりである。本稿では、研究所所蔵資料の中でも規模が大きいジャワ島のガムラン楽器から、体鳴楽器8点、膜鳴楽器2点、弦鳴楽器1点、気鳴楽器1点の計12点を掲載する²。

1.1 体鳴楽器

膜や弦を張ることなく、その個性性と弾力性により振動し音を発する物体を音源とする音具³。



1. ガンバン

L. 1550, D. 300-570, H. 535 (mm)

名称言語: インドネシア・ジャワ語

製造国: インドネシア・ジャワ島

製造年: 1960年代

説明: ブルリアンという名の硬い木等の打奏板20枚を持つザイロフォン。水牛の角製の細い棒の先にフェルトを巻いた木製の円盤を付けたバチ2本を使用する。ほぼオクターブ奏法で骨格旋律の隙間を彩る。



2. スルトウム

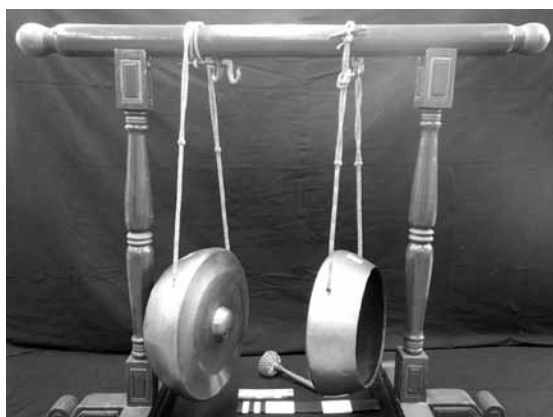
L. 855, D. 410, H. 470 (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：1960年代

説明：青銅製打奏板7枚とブリキ製筒型共鳴体7本を持つメタロフォン。先端の円盤状の部分に布を巻いた木製バチ1本で打奏。骨格旋律バルンガンを担当。



3. クンプル

φ. 470, D. 180 (ペロググ 6)

φ. 480, D. 190 (ペロググ 5) (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：1960年代

説明：青銅製コブ付きゴング。先端に布を巻いた木製バチでコブの部分で打奏。様々な音高のものがある。コロトミー楽器(節目楽器)の一種。



4. ゴン・スーアン(またはスーアン)

φ. 630, D. 205 (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：1960年代

説明：青銅製コブ付きゴング。先端に布を巻いた木製バチでコブの部分で打奏。一番大きなゴン・アグンに次いで低い音域を持つ。曲によりゴン・アグンの代わりとしてリズム周期の重要な拍に打奏する。



5. クト・クンピャン

φ. 265, H. 145(クト [左])

φ, 230, H. 175(クンピャン [右]) (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：1960年代

説明：平置型コブ付き青銅製ゴング・チャイム。それぞれ先端に紐を巻いた木製バチ1本でコブの部分进行打奏。コロトミー楽器(節目楽器)の一種。小さな節目の拍に打奏する。



6. クチェル

L. 420, D. 120, H. 180 (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：不明

説明：木製の台の上に2つの小型シンバルが上向きに紐でつながれ、その上から2つのシンバルを上下ペアで打ち合わせて音を鳴らす。主に影絵芝居ワヤンの伴奏で使用される。



7. クプラ

大 W. 210, D. 400, H. 189 (mm)

中 W. 155, D. 395, H. 140 (mm)

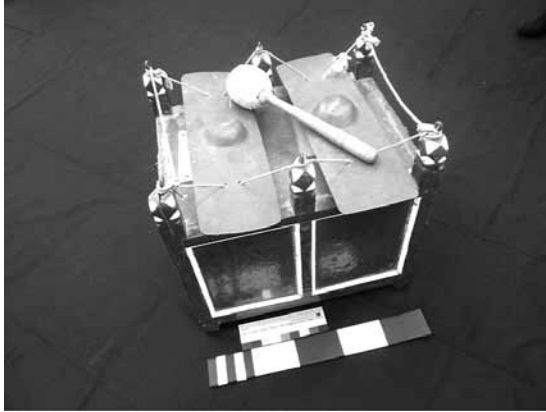
小 W. 120, D. 375, H. 100 (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：1960年代

説明：木製の箱形、または上部、横に細長い溝をつくり、内部が空洞の台形か長方形のスリット・ドラム。歌舞伎の「ツケ」に似て、舞踊の所作へ指示を出したり、テンポを決めたりする役割を持つ。



8. ゴン・クモドン

W. 500, D. 475, H. 495 (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

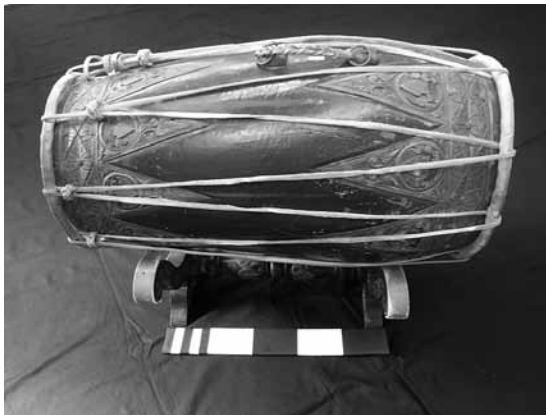
製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：不明

説明：青銅製コブ付き打奏板2枚、木製共鳴箱の構成。先端に布の巻かれた木製バチ1本で打奏。2枚の板が微妙に音高をずらして調律されていることから、2枚を連続して叩くとうなりが生ずる。室内楽においてゴン・アグンの代わりに使用される。

1.2 膜鳴楽器

強く張った膜を音源とした音具⁴。



9. クンダン・アグン

L. 750, φ. 375(右), 335(左) (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：1960年代

説明：大型の両面太鼓。「クンダン」は「太鼓」、「アグン」は「大きい」の意。太鼓の胴の部分にはナンカ等の木を使用し、左右に水牛の皮を張り、胴に渡した皮紐を締めて音高を調節する。バチは使わず手で両側の皮を叩いて鳴らす。アンサンブルの中では指揮者の役割を担い、速さや曲の進行を決める。



10. クンダン・クティパン

L. 435, φ. 220(右), 180(左) (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

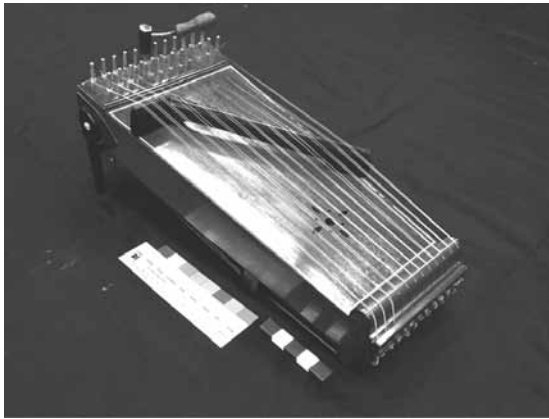
製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：1960年代

説明：クンダン・アグンと同種の小型両面太鼓。曲の形式によってアグンと組み合わせて使用する。

1.3 弦鳴楽器

固定点の間に、単数のまたは複数の弦を張り渡した音具⁵。



11. シトゥル

L. 520, W. 23.5, H. 215-105 (mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

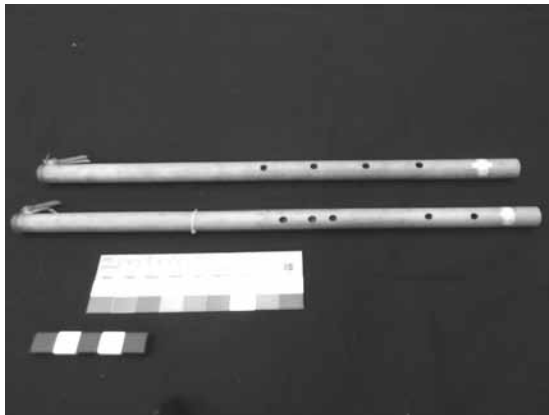
製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：2011年

説明：12コース計24本の金属弦を有する板型ツィター。木製共鳴箱の両面に弦を張り、一方がスレンドロ音階、一方がペログ音階になるように調律する。両手親指の爪で撥弦して演奏する。持ち運びが便利のため大道芸人による小編成の演奏でもよく使用される。

1.4 気鳴楽器

空気自体が振動源となる音具。主要振動源としてのリードの周囲の空気流により音を出すリード楽器も含む。



12. スリン

L. 530, φ. 22 (上)

L. 535, φ. 20 (下)(mm)

名称言語：インドネシア・ジャワ語

製造国：インドネシア・ジャワ島

製造年：1960年代

説明：リコーダー型の竹笛。吹き口に装着した籐または竹製の鉢巻き型の輪によりダクトを形成する。指孔はスレンドロ音階では4個、ペログ音階では5個ある。自由リズムで鳥のさえずりのような爽やかな音色を奏でる。

2 参考文献

凡例：以下の省略記号を利用する。

NGDMI = Sadie, Stanley, ed. 1997. The New Grove Dictionary of Musical Instruments. (First edition : 1984). London.

NGSODJ = Sadie, Stanley 他編 . 1995. ニューグローヴ世界音楽大事典 . 講談社 .

2.1 楽器・楽器学全般に関する文献⁶

CIMCIM.

2011 Revision of the Hornbostel-Sachs Classification of Musical Instruments by the MIMO Consortium. http://network.icom.museum/fileadmin/user_upload/minisites/cimcim/documents/H-S_20classification_20final_20version_20_282013_29_20without_20editorial_20markings-2.pdf (アクセス日: 2015年12月5日).

小日向, 英俊編.

2015 東京音楽大学附属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(2). 伝統と創造: 東京音楽大学附属民族音楽研究所研究紀要. Vol. 4, p. 53-56. (オンライン版: http://www.minken1975.com/publication/IE_B04201405.pdf).

2014 東京音楽大学附属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(1). ライブラリーレポート. Vol. 1, Vol. 1, p. 2-19.

2.2 個別楽器に関する文献

1. ガンバン (Gambang [Gambang kayu])

Heins, Ernst.

1995a ガンバン gambang. (山口修訳). NGSODJ. Vol. 5, p. 191.

Susilo, Hardja (and Heins, Ernst, & Kartomi Margaret).

1997 Gambang. NGDMI. Vol. 2, p. 8-9.

2. スレントウム (Slențem)

Kartomi, Margaret J.

1997a Slențem. NGDMI. Vol. 3, p. 402.

3. クンプル (Kempul)

Kartomi, Margaret J.

1997b Kempul. NGDMI. Vol. 2, p. 373.

4. ゴン・スーアン (Gong suwukan) (またはスーアン)

Kartomi, Margaret J.

1997c Gong suwuk [gong siyem]. NGDMI. Vol. 2, p. 65.

5. クト・クンピャン (Kețuk / Kempyang)

Kartomi, Margaret J.

1997d Kempyang. NGDMI. Vol. 2, p. 373.

1997e Kețuk. NGDMI. Vol. 2, p. 380.

6. クチェル (Kecer)

N/A.

1997 Kecer⁷. NGDMI. Vol. 2, p. 369.

Yampolsky, Philip et al.

2016 (ii) Theatre (in Indonesia, ŞIII : Central Java : 6. Performance contexts). Grove Music Online. Oxford Music Online. Oxford University Press. (Accessed January 5, 2016, <http://www.oxfordmusiconline.com/subscriber/article/grove/music/42890pg3>).

7. クブラ (Keprak)

Sarkissian, Margaret L.

1997a Keprak. NGDMI. Vol. 2, p. 376.

8. ゴン・クモドン (Kemoḍong)

Sarkissian, Margaret L.

1997b Gong Kemoḍong. NGDMI. Vol. 2, p. 65.

9. クンダン・アゲン (Kendang ageng⁸)

Heins, Ernst.

1995b クンダン kĕndang. (山口修訳). NGSODJ. Vol. 9, p. 378-379.

Kartomi, Margaret J. (and Heins, Ernst & Ornstein, Ruby)

1997f Kendan. NGDMI. Vol. 2, p. 374.

10. クンダン・クティプン (Kendang ketipung)

Heins, Ernst.

1995b クンダン kĕndang. (山口修訳). NGSODJ. Vol. 9, p. 378-379.

Kartomi, Margaret J. (and Heins, Ernst & Ornstein, Ruby)

1997g Kendan. NGDMI. Vol. 2, p. 374.

11. シトウル (Siter)

Kartomi, Margaret J.

1997h Siter. NGDMI. Vol. 3, p. 400.

12. スリン (Suling)

Heins, Ernst.

1995c スリン suling. (草野妙子訳). NGSODJ. Vol. 9, p. 378-379.

Kartomi, Margaret J.

1997i Suling. NGDMI. Vol. 3, p. 473-474.

2.3 ガムラン楽器全体と視聴覚資料

Heins, Ernst.

1995d インドネシア II. 器楽アンサンブル 1. ガムラン. (芹沢薫、皆川厚一訳). NGSODJ. Vol. 2, p. 88-91.

1995e ゴング gong. (山口修訳). NGSODJ. Vol. 7, p. 143-144.

1995f ゴング・チャイム gong-chime. (山口修訳). NGSODJ. Vol. 7, p. 144.

Kartomi, Margaret J.

1997j Gamelan. NGDMI. Vol. 2, p. 10-18.

Kunst, Jaap. (Ed. by E. L. Heins)

1973a Music in Java: Its history, its theory, and its technique (Translation of *De toonkunst van Java*). Vol. 1. Nijhoff.

1973b Music in Java: Its history, its theory, and its technique (Translation of *De toonkunst van Java*). Vol. 2. Nijhoff.

ランバンサリ.

2013 ジャワ・ガムラン - インドネシア中部ジャワ青銅打楽器の輝き (浜松市楽器博物

館コレクションシリーズ：44). 浜松市楽器博物館. (LMCD-1972).

岡部, 裕美.

2008 ジャワ・ガムランへのアプローチ—リズムの変容・音の変容. 千葉大学教育学部研究紀要. Vol. 56, p. 387-398.

佐藤, まり子.

1999 ジャワ・ガムランの構造と技法の研究. 伝統と創造 (1998). p. 3-47.

2.4 その他の参考文献：

United Nations Statistics Division.

2013 Countries or areas, codes and abbreviations. United Nations Statistics Division. <http://unstats.un.org/unsd/methods/m49/m49alpha.htm> (2013年11月6日更新 [2011年7月8日版]) (アクセス日：2015年12月5日).

3 付録：楽器一覧に使用したHS楽器分類番号の詳細

- | | |
|---------------|--|
| 111.142 | 相互打奏容器または容器拍子木：シンバル |
| 111.212 | 直接打奏体鳴楽器：単打奏棒のセット |
| 111.222 | 直接打奏体鳴楽器：単打奏板のセット |
| 111.23 | 直接打奏体鳴楽器：単打奏管 |
| 111.241.11 | 直接打奏体鳴楽器：独立ゴング：コブ付きゴング、コブなし、(うばあり)ゴングおよび中間型ゴング |
| 211.222.1-812 | 膜鳴楽器：両面（皮）樽型（胴）太鼓、調律リング付き |
| 211.232.1-812 | 膜鳴楽器：両面（皮）二重円錐型（胴）太鼓、調律リング付き |
| 314.122-5 | 弦鳴楽器：板型（胴）ツィター：共鳴箱式（箱型（胴）ツィター）、指で撥弦 |
| 421.211.12 | 気鳴楽器：本来の吹奏楽器：外側風路（ダクト）付き：単一のフルート：指孔付き |

表 1 : 掲載楽器一覧⁹

No.	楽器名	HS番号 ⁽¹⁾	地域	国名 (生産地)	登録番号	購入日	
01	ガンバン ⁽²⁾	Gambang	111.212	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-9-1	1979/08/31 ⁽⁵⁾
02	スルトトゥム ⁽³⁾	Slentem	111.222	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-8-3	1979/08/31 ⁽⁵⁾
03	クンプル ⁽⁴⁾	Kempul	111.241.11	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-3-7 G-3-8	1979/08/31 ⁽⁵⁾
04	ゴン・スーアン	Gong suwukan	111.241.11	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-2-2	1979/08/31 ⁽⁵⁾
05	クト ⁽⁶⁾ ・クンビャン ⁽⁷⁾	Ketuk / Kempyang	111.241.11 / 111.241.11	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-6-1 G-6-2	1979/08/31 ⁽⁵⁾
06	クチェル	Kecer	111.142	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-13-1	1979/08/31 ⁽⁵⁾
07	クプラ ⁽⁸⁾	Keprak	111.23	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-16-1 G-16-2 G-16-3	1979/08/31 ⁽⁵⁾
08	ゴン・クモドン	Kemoḍong	111.222	東南アジア 035	インドネシア IDN	未定	不明
09	クندان・アグン	Kendang ageng	211.232.1-812 or 211.222.1-812	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-10-1	1979/08/31 ⁽⁵⁾
10	クندان・クティプン	Kendang ketipung	211.232.1-812 or 211.222.1-812	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-10-3	1979/08/31 ⁽⁵⁾
11	シトゥル	Siter	314.122-5	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-15-2	不明
12	スリン ⁽⁹⁾	Suling	421.211.12	東南アジア 035	インドネシア IDN	G-12-1 G-12-2	1979/08/31 ⁽⁵⁾

⁽¹⁾ 該当番号の詳細については、「3 付録：楽器一覧に使用したHS楽器分類番号の詳細」を参照。

⁽²⁾ ペログ音階 ⁽³⁾ スレンドロ音階

⁽⁴⁾ ペログ音階。(G-3-7)は5の音、(G-3-8)は6の音

⁽⁵⁾ 1979年8月ではあるが、正確な日は不明。使用履歴のあるものを購入。

⁽⁶⁾ スレンドロ音階 ⁽⁷⁾ スレンドロ音階

⁽⁸⁾ 大(G-16-1)、中(G-16-2)、小(G-16-3) ⁽⁹⁾ 上(スレンドロ=G12-2)、下(ペログ=G-12-1)

謝辞：東京音楽大学樋口文子講師には、本稿掲載写真の撮影にご協力いただいた。ここに、謝意を表したい。

註：

- 1 本シリーズ(1)は[小日向 2014]、本シリーズ(2)は[小日向 2015]。
- 2 ガムラン楽器は、本シリーズ(1)にも掲載がある。
- 3 本シリーズ(1)の定義により「楽器」の上位概念である「音具」を使う。[小日向 2014：5]を見よ。
- 4 [CIMCIM 2011：7]による。
- 5 定義詳細については、[小日向 2014：7-8][CIMCIM 2011：12]を見よ。
- 6 本シリーズ(1)に掲載した楽器・楽器学全般に関する文献と視聴覚資料については、[小日向 2014]を見よ。
- 7 NGDMI 掲載項目「Kecer」には、金属容器(シンバル)2枚ではなく、青銅板2枚を打ち合わせるとの記載がある。

- 8 旧来は、(クンダン・グンデン)Kundang gending と呼ばれた [佐藤 1999]。
- 9 掲載する地域名と国名は、国連統計部が発表する地域名および国名とその3桁コードとアルファベット3文字の ISO ALPHA-3 コードに基づく。[United Nations Statistics Division 2013] を見よ。

(小日向=本学講師、音楽学、木村=同、ガムラン、針生=同、ジャワ舞踊)